



企画展 **アウトサイダーアートの方向 2025**  
 —Westerly winds from Osaka—

9月4日(木) ~ 9月15日(月祝)

※最終日は16時まで  
 ※9月8日(月)は休館日

大阪の障がい者生活介護事業所  
 「アトリエライブハウス」の  
 アーティストによるグループ展



協力 アトリエライブハウス

入場無料

9月のカレンダー

月	火	水	木	金	土	日
1	2 おきがる講座	3	4 アウトサイダーアートの方向(-9/15)	5	6	7
8 休館日	9 アウトサイダーアートの方向(-9/15)	10	11	12	13	14
15	16 休館日	17	18 キッチン 松ぼっくり 営業日	19 モダン館 円楽一門会	20	21
22 休館日	23 食べる・学ぶ・ 深川めし	24	25	26 おきがる講座	27 圓橋の会	28
29 休館日	30 晰+話					

開館時間 10:00-18:00

## 9月の催し

### 給食の懐かしい味! キッチン松ぼっくり

9月9日(木)11:45-14:00

ドライカレー 豆腐のマリネ  
スープ

850円

※受付は各日とも当日の10:00から(開館は10:00)  
※完売次第、閉店いたします ※ラストオーダーは13:30です  
※ご予約はできません ※メニューを一部変更する場合があります

揚げパンは1個50円



写真はイメージです



### 共催 食べる・学ぶ・深川めし 9月23日(火・祝)11:00-15:00

11:00-14:30 弁当販売(500円、1000円)(深川めし八郎右衛門)

おむすび(生姜香るあさり時雨煮)販売(300円)(ヤマタネ)

11:30-14:00 深川めし調理実演・販売(500円)(深川宿)



14:00-14:45 レクチャー「東京湾最奥部の干潟 三番瀬の今むかし」小澤鷹弥さん(ふなばし三番瀬環境学習館)

参加無料・予約不要

共催：深川めし振興協議会 写真はイメージです

### 共催 圓橘の会 9月27日(土)15:00～(開場14:30)

三遊亭圓橘・萬丸 岡本綺堂の怖い噺「猿の眼」  
“左甚五郎、江戸の旅”「三井の大黒」

予約・当日3,000円 定員50名 ※9月9日(火)10時から受付開始

### 共催 モダン館円楽一門会

9月19日(金)14:00～16:00(開場13:30)

楽麻呂 楽京 楽八 萬丸 + 「深川と落語にちなんだ話」龍澤潤

演目は当日のお楽しみ ※8月26日(火)10時から受付開始

予約・当日2,000円  
定員50名



### 共催 噺 + 話 9月30日(火)14:00～(開場13:30)

桂夏丸「玄関の扉」(古城一兵作) + 龍澤潤「演題にちなんだ話」

予約・当日1,500円 定員20名 ※9月17日(水)10時から受付開始

### 主催 おきがる講座 江東区の歴史を学ぶ講座

9月2日(火)14:00～15:30 「清澄通り」<sup>再</sup> 2023年6月と同内容

※8月26日(火)10時から電話で受付予約

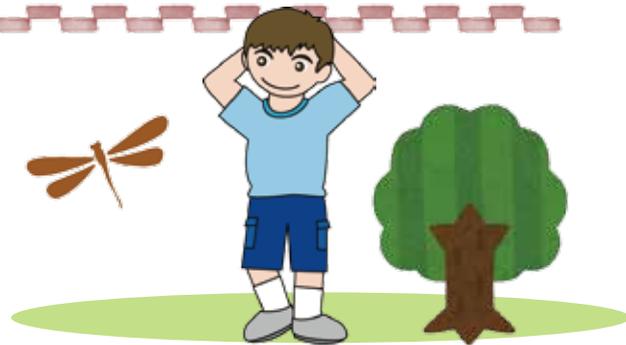
9月26日(金)14:00～15:30 「<sup>すはらや</sup> 栖原屋と<sup>すはらや</sup> 須原屋」

※9月9日(火)10時から電話で受付予約

いずれも 受講料：500円 定員：50名(要予約) 講師：龍澤潤(深川東京モダン館)



## 幼少期の思い出



戦後まもない生まれで、喜寿を越えようとしている今日、なぜか幼少期の頃を思い出します。その頃の男子の遊びといえば、今の子供達とは異なり、缶蹴り・ビー玉・メンコ・鬼ごっこなど、人と人の触れ合いの遊びであり、最大の楽しみは、自転車で来る紙芝居でした。何の変哲もない、童話中心の話でしたが、テレビの普及していない子供達にとって、楽しく希望をもって聞きほれていました。また何人かで富岡八幡の境内や隣接する数矢の山（子供達の間で言われていた）、富士塚（高さ6メートル位、江戸時代富士信仰の隆盛に伴い富士講中の人びとが築造、富士山の代わりに参拝、昭和40年に整地され姿を消す）で「かくれんぼ」をして遊んだことを思い出します。あの富士塚があれば、楽しい思い出と歴史を彷彿させるのではと、残念ではありません。

小学校は平久小学校でしたが、同級生達は我が町名の古石場を「コセキバ」と呼び馬鹿にしていました。隣の町は牡丹町・越中島と、綺麗で品格のある町名で、調べてみると牡丹町は、江戸時代に徳島藩松平阿波守の別邸があり、その屋敷の付近に牡丹を栽培する家が多かったことから名付けられたといえます。

また越中島は大川（現在の隅田川）河口の中州地帯に旗本の榊原越中守の屋敷があったためといわれています。

古石場の地名の由来を調べてみると、この地は昔、太田道灌が江戸城を築城するときに伊豆方面から石を舟で運搬してこの地に下ろし、加工して再び舟で運搬した由来を知り、それ以降自信を持って町名の話をしたことを鮮明に覚えています。

そういえば、平久の町名も木場となり、平久と称する名は、小学校と平久橋と平久川となり、時代の変化を感じます。

私が三～四歳の頃、門前仲町から牡丹町・越中島にかけて、商船大学、現在の東京海洋大学の通りに、米軍の進駐軍が隊列を組んで闊歩し、ものめずらしく見る子供達に、ガムや飴を投げたことを思い出します。



（文と写真 江東区文化観光ガイド 矢萩 正一）

深川東京モダン館では江東区文化観光ガイドによる館内のご案内（10時～16時）およびご希望によりモダン館周辺のまちあるきツアー（1時間程度、11時・14時出発）を行っています。 ※諸事情によりガイド不在の場合もあります。

## 貸会議室・多目的スペース

深川東京モダン館では2階の多目的スペースと会議室をお貸し出ししています。ミーティングやイベントを行うスペースなどにご利用ください。

### ◆会議室 (20㎡)

利用日時：開館日時 利用例：社内ミーティング、商談、お花・書道・語学の教室等

### ◆多目的スペース (80㎡)

利用日時：開館日時 利用例：展示、イベント、社内研修、演劇の公演、講演会、教室等



多目的スペース



会議室

※料金、ご予約（ご利用日の半年前から受付）詳細については、お電話またはメールにてお問い合わせ下さい。

※スクリーン、プロジェクター、マイクなど機器類もご利用いただけますので、ご相談ください。

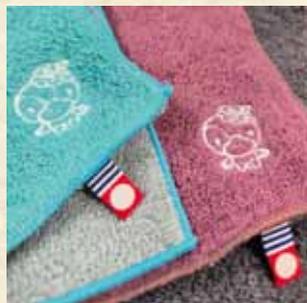
## ガイドブック・お土産品

深川東京モダン館1階では、まちあるきに役立つガイドブックや江東区の文化財ガイドなどを販売しています（お支払いは現金のみ）

- ・『江東区の文化財』各地域
- ・江東区観光キャラクター  
コトミちゃんグッズ各種  
(タオルハンカチ ぬいぐるみ等)
- ・江東区の名所を描いた絵はがき
- ・もくレース
- ・深川めしの素
- ・ちくま味噌 甘酒
- ・ゲイシャコーヒー
- ・Tシャツ
- ・キーホルダー  
ほか

リバーシブルタオル  
ターコイズブルー  
スモーキーピンク  
各 700円(税込)

新発売！コトミちゃん  
リバーシブルタオル



## 百圓珈琲

1F カウンターでは 100 円のコーヒー各種をご提供しております。日替わりホットコーヒー、「モダン館ブレンド」（しっかり・すっきり）そして季節限定の「冷やし」をご用意。まちあるきの休憩時や会社のお昼休み中の一服にどうぞ。



## 開館日および開館時間

10:00-18:00

休館日：月曜日

(月曜日が祝日の場合、翌火曜日が休館となります)



「深川東京モダン館だより」第146号(2025年8月14日)

発行 (一社)江東区観光協会 深川東京モダン館

〒135-0048 東京都江東区門前仲町1-19-15

TEL 03-5639-1776 FAX 03-5620-1632

Mail info@fukagawatokyo.com

ホームページ www.fukagawatokyo.com

